

2 指定避難所を見直しました

これまで指定一般避難所・福祉避難所として43カ所の施設を運営してきましたが、施設運営を見直し、35カ所に縮小することになりました。

可児市が想定する地震発生時の最大避難者数は3,823人です。縮小後の収容可能人数は9,781人のため、収容人数が不足することはありません。ご理解のほどよろしくお願いします。

縮小する避難所

可児高等学校
岐阜医療科学大学
帝京大学可児高等学校

可児工業高等学校
わくわく体験館
Lポート可児



地域の人たちから開設の要望があった際に開設する避難所に変更

老人福祉センター
やすらぎ館

兼山保育園



閉鎖

3 防災リーダー養成講座を開催します

地域の防災訓練・研修で活躍し、災害時には救援救護活動の役割を担う防災リーダーの養成講座を開催します。

期 日 11月15日、22日、29日の各日曜日

時 間 9時30分～18時

場 所 総合会館

内 容 講義、個別ワーク、実習、防災士資格取得試験など

対 象 者(次の要件を全て満たす人)

○市内在住・在勤・在学の人

○防災リーダー・防災士の資格を生きし、自治会などの地域の防災活動で活躍できる人

○全ての講座に出席できる人(欠席した講座があると、防災士資格取得試験を受験できない場合があります)

定 員 50人程度

受 講 料 12,000円(防災士教本代金、防災士資格取得試験受験料、防災士認証登録料を含む)

※学生が受講する場合は、受講料を市が負担します。

申 込 方 法 申込書(同課、市HPにあり)を同課に提出

申 込 期 間 7月1日(水)～31日(金)



市HP

防災に関する3つのお知らせ

問 防災安全課 内 3442

1 防災気象情報が新しくなりました

大雨や土砂災害の危険性が高まったときなどに気象庁が発表する防災気象情報が新しくなりました。防災気象情報が発表された際には、「キキクル(危険度分布)」や「川の水位情報」などを確認し避難の判断をしましょう。



避難の判断

主な変更点

☞ 警報・注意報の名称に「警戒レベル」が付きました

変更例 (旧)大雨警報→(新)レベル3大雨警報

避難のタイミングをレベルで判断できます。

レベル3警報 避難に時間がかかる高齢者などは危険な場所から避難する

レベル4危険警報 危険な場所から全員避難する

レベル5特別警報 既に安全な避難はできない。今いる場所よりも安全な場所へ

☞ 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わりました

○河川の氾濫に「レベル5氾濫特別警報」が新設

○「洪水警報」「洪水注意報」は廃止

☞ 「警戒レベル4相当」の情報は「危険情報」から「危険警報」に変わりました

新しい防災気象情報

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の崖崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打ち上げによる浸水
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			